

年間授業計画様式

東京都立町田工科高等学校 令和5年度 教科工業 科目 デザイン技術 年間授業計画

教科：工業 科目：デザイン技術 単位数：2単位

対象学年組：第3学年1組

教科担当者：(1組：清水昭弘)

使用教科書：(デザイン技術)

使用教材：()

	指導内容	科目デザイン技術の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	ガイダンス	年間における学習予定や課題内容、評価方法について理解する。	(1) 知識及び技能 デザイン技術について基礎的な知識及び技術を身に付け、適切な結果を出すことができるか。	2
	プロダクトデザイン ア プロダクトデザインの概要 ① 生活とプロダクトデザイン	身の回りにある工業製品などから商品のデザインについて、製作の目的などを理解する。	デザイン技術の社会的な意義を理解し、応用的な処理ができるか。	2
		ユニバーサルデザイン ・ユニバーサルデザインの7つの原則 ・バリアフリーとユニバーサルデザインの違い ・サステナブルデザイン などについて理解する	(2) 思考力、判断力、表現力等 デザイン技術について基礎的な知識を適切に活用し、応用する能力が身に付いているか。	2
			(3) 学びに向かう力、人間性等 デザイン技術について関心を示し、意欲的に取り組んでいるか。	
			以上の観点について出席状況、学習態度観察、発問、ワークシート及び課題提出等	

	指導内容	科目デザイン技術の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	② プロダクトデザインの領域	家庭領域、産業領域、環境・公共領域など各領域から代表的な製品をあげ、技術の発達や社会的ニーズによってデザインされていることを理解する。	(1)、(2)、(3)の観点について出席状況、学習態度観察、発問、ワークシート及び課題提出等で総合的に判断する。	2
	③ プロダクトデザインの規範	デザインと関連する法規の例を示し、デザイナーの役割を理解する。		2
	中間考査	考査までの範囲について、知識と理解を確認する	考査により(1)、(2)、(3)について評価する	1
	答案返却	考査問題の解答と解説を行い、フォローアップをおこなう		1
	④ プロダクトデザインにおける機能と造形	・プロダクトデザインの果たす役割としての各機能を知り、働き・用途・使い道・効用などについて理解する。	(1)、(2)、(3)の観点について出席状況、学習態度観察、発問、ワークシート及び課題提出等で総合的に判断する。	2
	⑤ デザインプロセス	プロセスの明確化について理解し、各段階(企画、立案、設計、製作)の具体的な内容について学ぶ。		

	指導内容	科目デザイン技術の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	⑥ プロダクトデザインへの コンピュータの利用	プロダクトデザイン分野へのCADシステムの導入などについて、最近の動向など について理解する		2
	⑦ システムデザイン	システム思考やシステム化の手法でおこなわれるデザインについて理解をする		2
	イ 生活機器のデザイン ① 家事労働の軽減と 家庭電化製品	三大家事労働といわれる炊事、洗濯、掃除などに関する家電製品から、デザインの 果たしてきた役割を理解する		2
	② 炊飯器のデザイン ③ コンロのデザイン	家庭電化製品が一般に浸透したきっかけとなった炊飯器とコンロが果たしてきた役割 について理解する		2

	指導内容	科目デザイン技術の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	1 学期末考査	これまでに学んだ範囲の知識と技能について、考査により確認する		1
	答案返却	答案返却時に結果を確認し、身に付けていない点について確認をおこなう		1
	プロダクトデザイン ウ 産業機器のデザイン ① 産業機器分野の 社会的意義	工業界におけるデザイン施策について、家電製品を例にとりながら産業機器分野におよんだデザイン活動について理解をする		2
	プロダクトデザイン ウ 産業機器のデザイン ② 資材機器のデザイン	多種多様な資材機器に多目的で省力化の課題にデザイン活動を導入した背景について理解する		2
	夏季休業			

	指導内容	科目デザイン技術の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月	夏季休業			

指導内容	科目デザイン技術の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
プロダクトデザイン エ モデルメイキング ① 種類と内容	プロダクトデザインの過程で作られる模型の種類と、違いによる技法について理解する。	(1)、(2)、(3)の観点について出席状況、学習態度観察、発問、ワークシート及び課題提出等で総合的に判断する。	2
プロダクトデザイン エ モデルメイキング ② 材料と製作技法	模型を製作するに材料と製作技法の違いについて学ぶ		2
プロダクトデザイン オ 繊維・服飾デザイン	テキスタイルデザインの役割とプロダクトデザインの関連性について理解する		2
プロダクトデザイン カ クラフトデザイン ① 伝統工芸と現代	地域(東京および町田地域)に伝わる伝統工芸品および特色ある伝統工芸品について、その生産性、工芸品の意義などについて理解し、現代の工芸品とのかかわりなどについて理解する		2

9
月

	指導内容	科目デザイン技術の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	プロダクトデザイン カ クラフトデザイン ② 伝統工芸の材料と技法	伝統工芸品に伝わる材料、技法について理解する	(1)、(2)、(3)の観点について出席状況、学習態度観察、発問、ワークシート及び課題提出等で総合的に判断する。	1
	中間考査	考査までの範囲について、知識と理解を確認する	考査により(1)、(2)、(3)について評価する	1
	答案返却	考査問題の解答と解説を行い、フォローアップをおこなう		1
	プロダクトデザイン カ クラフトデザイン ② 伝統工芸の材料と技法	伝統工芸品に伝わる材料、技法について理解する	(1)、(2)、(3)の観点について出席状況、学習態度観察、発問、ワークシート及び課題提出等で総合的に判断する。	4

	指導内容	科目デザイン技術の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	環境構成デザイン ア 都市の環境	地域（東京都、町田市）を例にとり、環境デザインの構成対象について理解し、新しい都市への提案、環境における秩序などについて理解する	(1)、(2)、(3)の観点について出席状況、学習態度観察、発問、ワークシート及び課題提出等で総合的に判断する。	4
	環境構成デザイン イ インテリア	環境に関するインテリアとは何か、地域（東京都、町田市）の具体的事例から理解する 具体的には実際にある画像・映像などから、インテリアの目的・歴史などまで理解する		4

	指導内容	科目デザイン技術の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	2 学期末考査	これまでに学んだ範囲の知識と技能について、考査により確認する	考査により(1)、(2)、(3)について評価する	1
	答案返却	答案返却時に結果を確認し、身に付けていない点について確認をおこなう		1
	環境構成デザイン イ インテリア	地域(東京都、町田市)の実例からサステナビリティとインテリアについて理解をする。 具体的には、建築とインテリア、外部空間とインテリア、インテリアと安全性、インテリアデザイナーの仕事と資格	(1)、(2)、(3)の観点について出席状況、学習態度観察、発問、ワークシート及び課題提出等で総合的に判断する。	2
	冬季休業			2

	指導内容	科目デザイン技術の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	冬季休業			2
	環境構成デザイン ウ インテリアの計画	地域(東京都、町田市)の実例を参考に住空間の計画、パブリック空間の計画について理解する	(1)、(2)、(3)の観点について出席状況、学習態度観察、発問、ワークシート及び課題提出等で総合的に判断する。	2
	環境構成デザイン エ インテリアエレメント オ ディスプレイデザイン	地域(東京都、町田市)の実例を参考にして、インテリアエレメント及びディスプレイデザインについて理解する		2
	環境構成デザイン オ ディスプレイデザイン	地域(東京都、町田市)の実例を参考にして、ディスプレイデザインの企画方法について理解する		2
	環境構成デザイン オ ディスプレイデザイン	地域(東京都、町田市)の実例を参考にして、空間演出のデザインについて理解する		2

	指導内容	科目デザイン技術の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	学年末考査	これまでに学んだ範囲の知識と技能について、考査により確認する	考査により(1)、(2)、(3)について評価する	1
	答案返却	答案返却時に結果を確認し、身に付けていない点について確認をおこなう		1

	指導内容	科目デザイン技術の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				